

広げよう！
子育ての輪

親子で絵本を

楽しもう！

「NPO法人絵本による街づくりの会」では、「絵本を通して子どもの笑顔があふれる街に」「豊かな心を育む街に」をめざし活動しています。

赤ちゃんの体の成長にミルクが必要なのに、赤ちゃんのことはと心を育むためには、抱っここの暖かさの中で優しく語りかけてもらう時間が大切だといわれています。

理屈ではわかっているけど、「生まれて間もない赤ちゃんに何を話しかけたらいいの？」と戸惑いを感じているお母さんも多いはず。

そんなとき、こころを込めて作られた絵本を読んであげましょう。絵本には普段の生活ではなかなか出会えない「リズム感あふれることばや美しいことば」が、いっぱいつまっています。

そして、美しい絵も赤ちゃんに語りかけています。また、絵本を読んでもらえるお母さん自身にとっても、元氣と優しさを与えてくれる幸せなひとときとなります。

絵本はこころのミルク、ことばの花



束です。お母さんの肌のぬくもりを感じながら、ことばと心を通わすことのできる《絵本》とともに、かけがえのないひととき（時間）をすごしましょう。

「NPO法人絵本による街づくりの会」では、本年度高島市で始まるブックスタート事業にも協力させていただきます。《親子で絵本を楽しもう》を合言葉に、楽しく子育てしましょうね。

子育ての
子どおと
いい話

これが2歳見なんだ

初めて支援センターを利用したのは、子どもが6か月に入った頃でした。

先生にわらわらうたを教えてもらったり、月齢にあった手作りおもちゃで遊ぶうちに過ぎていきます。そんな子どもの姿を見るのがうれしくて、いつの間にか毎日通うようになりました。今では子どもも2歳になり、何をするにも「イヤ」しか言わず最後には大泣き。



あまりのハチャメチャぶりに手を焼く毎日ですが、「順調に成長している証よ。そういう時は抱きしめて話を聞いてあげるといいよ。」と教えてもらいました。



実際、子どもが泣いている時は、私もイライラしてうまく向き合えないこともあります。これが2歳児なんだと割り切って、私なりに子どもの「イヤ」に付き合っています。

- ＝子育て支援センターへの問い合わせ＝
- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎(27)8187
 - 今津地域(今津東保育園内) ☎(22)4833
 - 朽木地域(朽木保育園内) ☎(38)2070
 - 安曇川地域(古賀保育園内) ☎(33)1540
 - 高島地域(高島保育園内) ☎(36)0660
 - 新旭地域(大師山さくら園内) ☎(25)3399

子どもをまもる
シリーズ ⑥

こころにゆとりをもち、余裕を持って

春から保育園や幼稚園生活がスタートしたお子さんたち、慣れない生活に戸惑う気持ちが少しずつ落ち着いてきた頃でしょうか？

大好きなお父さん・お母さんとはばらくの間離れ、自分の力で周りの人との関係を作り上げていくのは大変勇気のいる経験です。子どもが帰ったら一日の出来事を聴き、頑張りをはめてやり、次の日の活力へとつながるようお家の方が支えてあげてほしいものです。大人の尺度で考えればつい子どものできない事に目が行きがちですが、子どもの発達をふまえ、できるようにした事に目を向ける見方は大切です。

＜親自身も気持ちのいいコミュニケーションを＞
お子さんの成長に伴い、お家の方も多様な悩みを抱えておられる事と思います。新しい園生活でのストレスや子育てのやりにくさ、身近に相談相手がないなど…。子育ての悩みや園生活での不安を相談したい時、地域の子育て支援情報が知りたい時は、

あなたの「もしや」が子どもを救う。気になる子どもを見かけたら、勇気を出して通告してください。

【通告先】
子ども家庭相談課
☎(05)80517
市役所代表
☎(05)80000
市内各保健センター
中央子ども家庭相談センター
☎077(562)1121

現場から
シリーズ ⑪

こころ、
伝えたい
理解、



児童相談所は、子どもの福祉とその権利を守る事を目指すために都道府県などに設置されており、児童福祉司、相談員、医師、児童指導員、児童心理司などの職員が配置されています。

私たち児童心理司は、これらの職務を通じて、子どもの抱える真の事情の理解に努めています。
どうぞお気軽にご相談ください。
(児童心理司)

- その主な職務は次の3つです。
- (1) 子どもが持っている問題や生活状況を理解し、的確な援助を行うために心理診断を行います。
 - (2) 心理診断の結果をもとに、子ども本人や、家族、関係者の皆さんへのアドバイスを行います。
 - (3) 必要に応じて、子どもと家族に継続して面接を行い、問題の解決に向けて協力して取り組みます。

児童相談所では、次のような相談を受け付けています。
幼稚園・学校に行きたがらない、いじめられる、わがままで友人ができない、たばこを吸ったりの非行が心配など。

子ども虐待防止啓発標語 ⑥
「思い出して 子どもを産んだ 感動を」
(湖西中学校3年 八田 優香さん)